

JIS

GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7252 : 2019

(JCIA/JSA)

令和元年 5 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千葉 光 一	関西学院大学
(委員)	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	小川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	倉品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会
	斉藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和 広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	中川 勝 博	一般社団法人日本分析機器工業会
	中島 眞 理	一般社団法人日本ゴム工業会
	中村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	野々瀬 菜穂子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	広瀬 晋 也	石油連盟
	保倉 明 子	東京電機大学
	松永 直 樹	拓殖大学
	森川 淳 子	東京工業大学
	山崎 初 美	主婦連合会
	山田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：平成 21.10.20 改正：令和元.5.25

官 報 公 示：令和元.5.27

原 案 作 成 者：一般社団法人日本化学工業協会

(〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル TEL 03-3297-2550)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部化学物質対策課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	3
4 一般事項	11
5 分類に必要な情報及びその内容決定の手順	11
5.1 分類の概念	11
5.2 分類基準及び分類手順	11
5.3 利用可能なデータ，試験方法及び試験データの質	13
5.4 混合物の分類に特別に考慮しなければならない事項	15
5.5 健康に対する有害性，及び環境に対する有害性におけるつなぎの原則	16
附属書 A（規定）物理化学的危険性	19
附属書 B（規定）健康に対する有害性	67
附属書 C（規定）環境に対する有害性	141
附属書 JA（参考）参考文献	163
附属書 JB（参考）JIS と対応国際規格との対比表	165
解 説	167

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本化学工業協会（JCIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 7252:2014** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格は、国際連合経済社会理事会によって、2015 年に改訂された “Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), Sixth revised edition [化学品の分類及び表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 6 版]” から内容の一部を抜粋し、翻訳したものであり、国際連合による承諾を得ている。

This standard includes extracts of Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), sixth revised edition, ISBN 9789211170870, Copyright ©United Nations 2015. Extracts from GHS have been translated and reproduced with the permission of the United Nations, and this translation constitutes an unofficial translation for which the SDOs accept full responsibility.

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

GHS に基づく化学品の分類方法

Classification of chemicals based on “Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS)”

序文

この規格は、国際連合経済社会理事会によって 2015 年に発行された“化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）改訂 6 版 [Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), Sixth revised edition]”に基づいて作成した日本工業規格である。

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法は、**JIS Z 7253** に規定されている。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、**GHS** に基づき化学品を、物理化学的危険性、健康に対する有害性及び環境に対する有害性に関して分類する方法について規定する。ただし、“成形品（3.5 参照）”は除く。

注記 1 法規制などは、この規格に優先する。

注記 2 暫定措置として、2022 年（令和 4 年）5 月 24 日までは、**JIS Z 7252:2014** に従って化学品を分類し、**JIS Z 7253:2012** に従ってラベル及び **SDS** を作成してもよい。

注記 3 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS), Sixth revised edition (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 3115 圧力容器用鋼板

JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯

JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材

JIS H 4000 アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条

JIS K 2254 石油製品－蒸留性状の求め方

注記 対応国際規格：**ISO 3405:2011**, Petroleum products－Determination of distillation characteristics at